

令和2年度南国・香南・香美地域 事業報告

高知県薬剤師会香長土支部

1 介護予防講座 **かみ笑楽塾**

開催日時：令和2年9月3日（木）14時～15時30分

開催場所：香美市社会福祉協議会香北支所

内容：「おくすりを知ろう ～血圧・睡眠編～」

「新型コロナウイルスを知ろう ～ひとりひとりができる対策～」

講師：ベル薬局山田店 宮地 克彦 氏

（地域活動強化システムを通じて講師派遣）

※地域活動強化システム：地域活動（出前講座の講師やお薬・健康相談等）と薬剤師のマッチングを行う

2 令和2年度在宅医療・介護連携推進事業 **地域連携勉強会**

主催：土佐長岡郡医師会、香美郡医師会、南国市・香南市・香美市

在宅医療・介護連携推進事業実施検討会

開催日時：令和2年9月11日（金）18時30分～20時

開催場所：サザンシティホテル アンジェブラン

内容：「地域連携でがん患者さんを支えるための抗がん剤のレジメン情報共有と副作用チェックシートの活用」

～高知大学医学部附属病院薬剤部の取り組み～

講師：高知大学医学部附属病院 薬剤部 川添 哲嗣 氏

「お薬プロジェクトについて」（別紙1）

県薬剤師会香長土支部長 稲本 悠 氏

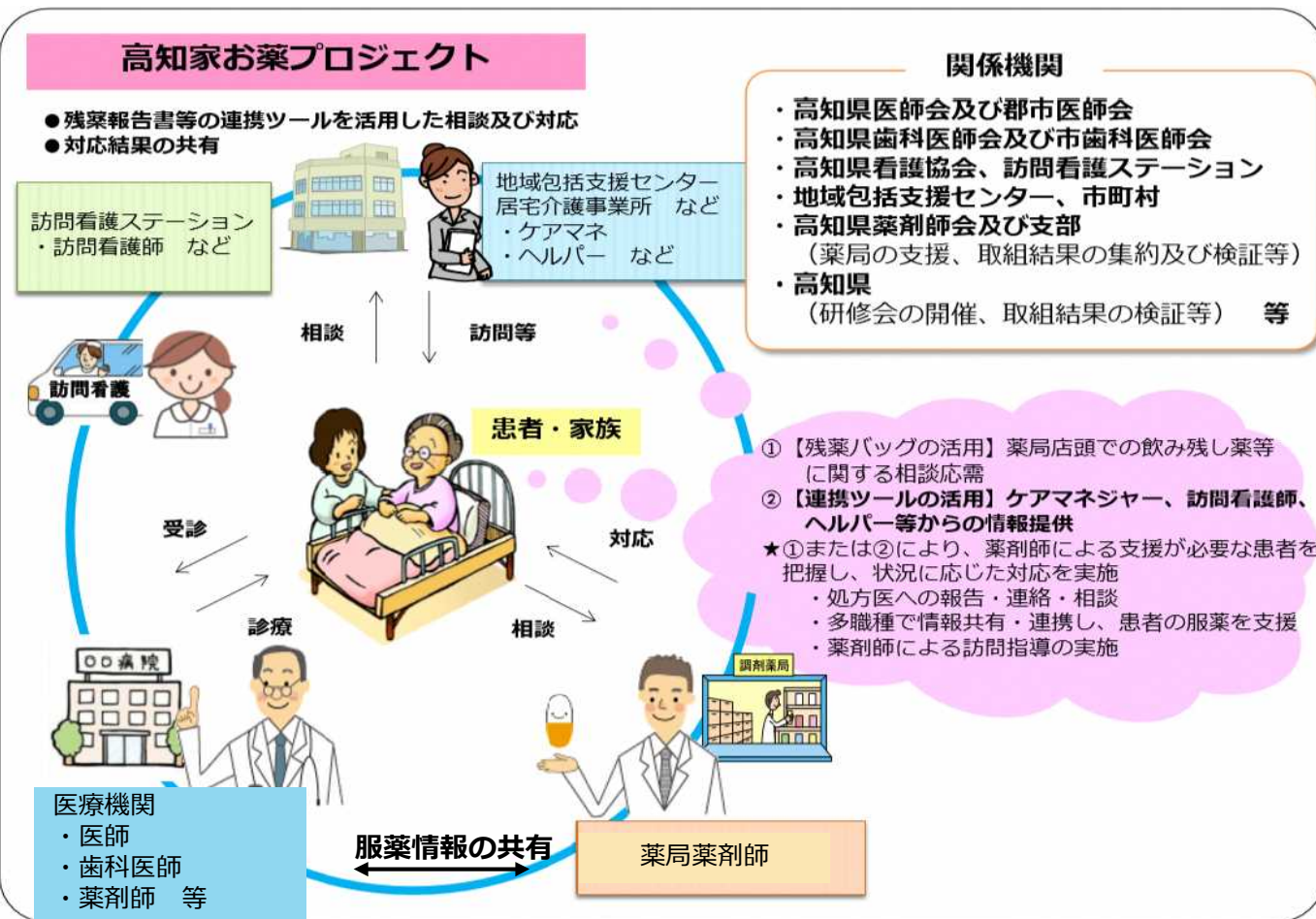
在宅服薬支援事業「高知家お薬プロジェクト」とは

<目的>

医療・介護関係者が連携（多職種連携）して、認知症を含む高齢者等の在宅での服薬状況を改善することにより、薬物治療の効果を高める。

本事業を通して、

- ▶ 多職種と薬剤師・薬局の連携を強化 → 訪問看護師やヘルパーの負担軽減
- ▶ 安心して在宅医療（療養）ができる環境整備
- ▶ 適切な薬物治療による薬剤費の適正化



取り組みPRのチラシ

お薬のことは薬剤師へご相談下さい！在宅服薬支援「高知家お薬プロジェクト」

**服薬状況が気になる患者さん・利用者さんは
いらっしゃいませんか？
薬局薬剤師にご相談下さい。**

訪問看護師、介護支援専門員、ヘルパー等（多職種の皆さま）

服薬状況が気になる患者さん・利用者さんがいらっしゃる場合

- * 患者さんご本人やご家族からの相談の場合も

患者（利用者）の同意の有無を確認したうえで、**薬局薬剤師へ情報提供**

薬局への連携ツールの一つとして、「薬局へのお薬相談書」（様式A）をご活用ください。

なお、様式Aの使用の有無は問いません。お電話でもかまいませんので、お気軽にご相談下さい。

高知県薬剤師会 ホームページからダウンロードできます。

イメージ

情報共有

薬局 ↔ かかりつけ医・歯科医

・ 処方医との情報共有（照会等）
・ 情報提供者への状況聞き取り
・ 状況に応じて患者宅へ訪問（医師の訪問指示の有無によらない）
・ 適正な服薬ができていない理由別の対応
・ おくすりバッグを活用した残薬整理、重複投薬対応

▶ 対応結果は情報提供者（多職種）、処方医へ報告

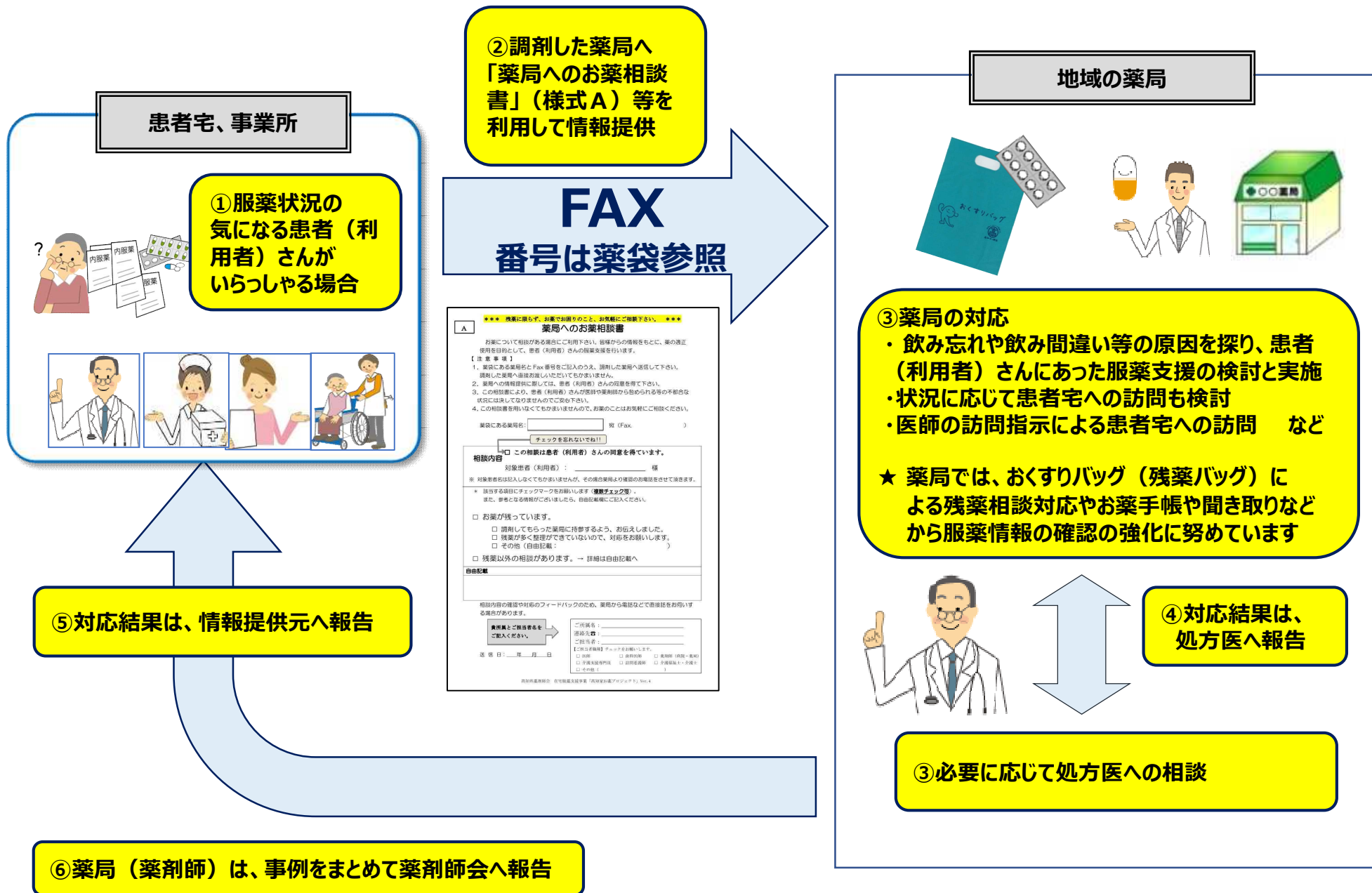
<目的>
医療・介護関係者が連携して、高齢者等の在宅での服薬状況を改善することにより、薬物治療の効果を高める。

本事業を通して

- ① 多職種と薬局・薬剤師の連携を強化してまいります。
- ② 安心して在宅医療（療養）ができる環境を整備してまいります。

公益社団法人高知県薬剤師会 TEL. 088-873-6429

在宅服薬支援事業「高知家お薬プロジェクト」の流れ



② 調剤した薬局へ「薬局へのお薬相談書」（様式A）等を利用して情報提供

FAX
番号は薬袋参照

*** 残薬に限らず、お薬でお困りのこと、お気軽にご相談下さい。***

A. 薬局へのお薬相談書

お薬について相談がある場合にご利用下さい。診察からの情報をもとに、薬の適正使用を目的として、患者（利用者）さんの服薬支援を行います。

【注意事項】

1. 薬局にある薬名とFAX番号をご記入のうえ、調剤した薬局へ返信して下さい。調剤した薬局へ直接お渡ししないでください。
2. 薬局への情報提供に際しては、患者（利用者）さんの同意を得て下さい。なお、この相談書により、患者（利用者）さんが医師や薬剤師から与えられる等の不都合な状況には決りませんのでご安心下さい。
4. この相談書を用いなくても構いませんので、お薬のことはお気軽にご相談ください。

薬局にある薬名: _____ 宛 (FAX) _____)

チェックを忘れなさいね!

相談内容

この相談は患者（利用者）さんの同意を得ています。

対象患者（利用者）: _____ 様

※ 対象患者名は記入しなくても構いませんが、その場合薬より薬師のお薬相談をさせていただきます。

* 該当する項目にチェックマークをお付け下さい。【複数チェック可】

また、参考となる情報がございましたら、自由記載欄にご記入ください。

お薬が残っています。

調剤してもらった薬用紙に持参するよう、お伝えしました。

残薬が多く整理ができないうので、対応をお願いします。

その他（自由記載: _____）

残薬以外の相談があります。→ 詳細は自由記載へ

自由記載

相談内容の確認や対応のフィードバックのため、薬局から電話などでご連絡をおこなう場合があります。

調剤とご報告番号を
ご記入ください。

ご所属名: _____
連絡先電話: _____
ご住所: _____

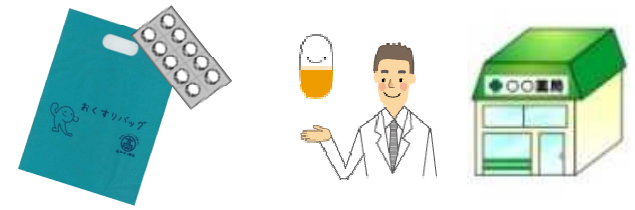
【お薬手帳】チェックをお願いします。

調剤済 医師調剤 薬局（調剤・調剤）
 薬局調剤済 医師調剤済 調剤済/調剤済
 その他: _____

送 付 日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

高知県薬剤師会 在宅服薬支援事業「高知家お薬プロジェクト」Ver.4

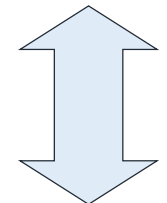
地域の薬局



③ 薬局の対応

- ・ 飲み忘れや飲み間違い等の原因を探り、患者（利用者）さんにあった服薬支援の検討と実施
- ・ 状況に応じて患者宅への訪問も検討
- ・ 医師の訪問指示による患者宅への訪問 など

★ 薬局では、おくすりバッグ（残薬バッグ）による残薬相談対応やお薬手帳や聞き取りなどから服薬情報の確認の強化に努めています



④ 対応結果は、処方医へ報告

③ 必要に応じて処方医への相談

⑤ 対応結果は、情報提供元へ報告

⑥ 薬局（薬剤師）は、事例をまとめて薬剤師会へ報告

「高知家お薬プロジェクト」事例データ（高知県全体）

事例収集期間：平成30年12月1日から令和元年11月30日
事例数：106薬局から246件

◆相談者

- 1位 介護支援専門員（ケアマネジャー） 89件（36%）
- 2位 患者・家族 80件（33%）
- 3位 医師 40件（16%）

◆内容（*複数回答）

- 1位 服薬状況（飲んでくれない・飲み間違いなど） 137件（57%）
- 2位 残薬 126件（52%）
- 3位 処方内容（用法用量、剤形工夫など） 57件（24%）

◆在宅訪問以外に行った対応（*複数回答）

- 1位 残薬整理 137件（56%）
- 2位 服薬支援（カレンダー・仕切り箱などの活用） 74件（30%）
- 3位 疑義照会による処方変更等 70件（29%）

◆服薬支援が必要であった要因（*複数回答）

- 1位 薬物治療の理解力不足 186件（76%）
- 2位 支援不足 114件（46%）
- 3位 重複・多剤投薬 61件（25%）

◆結果（*複数回答、*対応中除く）

- 1位 残薬の減少 139件（57%）
- 2位 アドヒアランスの改善 127件（52%）
- 3位 支援者の負担減 54件（22%）